

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371501020
事業所名	グループハウス愛

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に事業所と入居者が加入し地域に貢献しているが、コロナ禍で今年も地域行事や清掃活動は自粛となっている。中学生の職場体験やフラダンスなどのボランティアの受け入れも活動を自粛せざるを得ない状況となっている。コロナ感染症状況を確認しながら周辺の散歩をし、地域の様子や風情を忘れないようにしている。地域の商店や飲食店では、鰻や寿司の宅配やお弁当などに形を変えて利用し交流を継続している。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族代表、民生委員、地区婦人会会長、学識経験者、いきいき支援センター職員に開催通知やアンケート依頼を郵送しているが、コロナ禍により書面開催とし、議事録には写真や議題の内容をわかり易く添付して届けている。家族世帯への議事録送付は課題としている。意見や提案は職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。会議録は、面会時にも見られるようファイルして置いてある。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） コロナ禍で、担当者とは電話やファクス、メールで今まで以上に綿密な連絡を取り合い、入居者の状況や施設の空き状況の他にも情報やアドバイスを得ている。担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務などで出掛け、活動報告やサービスの内容などを伝え良好な協力関係を築いている。「認知症カフェ」は現在中止となっているが依頼があれば行う予定としている。包括支援センターより、認知症の理解について講師依頼を受けたが、コロナ感染症の状況を鑑みて見合わせをしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録して職員間で共有しケアにつなげている。家族とは、コロナ禍により面会は状況を確認しながら流動的な対応としている。また、電話連絡や着替えなど届け物の受け渡しの折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。日頃の様子や写真を掲載した「愛だより」を発行して家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境も整えている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	◎

【備考欄】

運営推進会議については、今年度も書面での開催としている。外出自粛が続く中、屋上で季節の野菜や花を育て、季節の移ろいを楽しんだり、野菜の収穫をして食卓に彩をそえたり、日光浴や外気浴をしたりシャボン玉などをしたりして外気に触れることに心掛けている。入居者の希望を聞いて鰻や寿司やお弁当などをデリバリーし、外食の雰囲気が楽しめるようにしている。散歩や買い物など気軽に出かけられる環境にあり、状況を確認して散歩に出かけているが、買い物や外食などはコロナ感染症の状況を確認しながら再開していくように心積もりをしている。面会は、状況を判断して柔軟な対応をしているが、リモートやタブレットでの面会方法を、今後、検討していく予定にしている。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	×	×	○	×	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	◎								